

研修名 自然と保育研究研修2

平成28年11月11日(金) 9:00~16:00

講演 「法然院から登る、大文字山の秋を堪能しよう」

— 日々の保育できっと役に立つ観察力 —

講師 久山 慶子 氏

## 1 講演要旨

・オリエンテーション

山登りで感じてほしいことや、気を付けてほしいことの話  
共生き堂・法然院センターの活動について

## 2 感想

初めての山登りで、登れるのかとても不安だった。

大文字山についての話をたくさんしてくださり、山でのキノコの役割や、蜘蛛の巣の構造、松・杉・檜を三つ見比べることも初めてだったので自然に向き合い、自然について初めていろいろ感じ、知れた研修だった。途中落ち葉を白い紙の上に並べ、グラデーションに並べたり、形別にしたり、途中でこのように一息つける時間もあるとまた、山での遊びや、周りを見て山を感じることに、つながるなと思った。

登っているときはつらく、しんどかったが登れた時の景色を見れると「ここまで来たんだ」ととてもうれしかった。

しかし、下山時は体の使い方がわからず、滑りやすいところで踏ん張れなかったり、足にとっても力を入れて普段使わない力を使って下山したことで、

「山登りは、下山のほうが大変」と言われている理由が分かった。

でも、この踏ん張ったり、力を込めたりすることは普段の遊びの中ではなかなか感じることや、することが少なく、普段の生活の中ではなかなか出来ない経験だなと思った。山でしかできない経験の一つだと学んだ。

下山後は、拾って来た落ち葉や、枝で工作活動をして、枝、落ち葉ひとつでいろいろな見方、発想があり下山した後も楽しい活動につながるなと思った。

ありがとうございました。

(記録 くわの実保育園 福井貴奈)

